

【勝山市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

勝山市では、令和3年度に「勝山市教育大綱」を策定し、基本方針の一つとして「新しい時代にたくましく生きる力を育む学校教育」を掲げています。この中で重点項目の一つとして「ICTの活用の推進」を掲げ、子ども達にICT環境を効果的に活用する能力を身に付けさせる中で、個別最適な学びと協働的な学びを推進することを目標としています。

この目標の実現に向けて、ICTを活用した新たな教材やアプリ、学習活動を積極的に導入し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。

2. GIGA 第1期の総括

1. 経緯と現状

勝山市では、GIGA スクール構想に基づき、令和2年度に小・中学校の児童生徒に1人1台端末を整備しました。この5年間で学習用端末を接続するためのICT環境の整備を進めるとともに、教育現場での活用を推進してきました。

2. ICT 施策の実施内容

- ・ネットワーク環境の整備：端末は、LTE 通信に対応したものを導入することで、いつでもどこでも安定したネットワークと高速通信ができる環境を整備し、持ち帰りや校外学習での活用を図りました。
- ・学習活動の充実：整備したICT環境を活用することで、児童生徒が情報収集、共同編集、意見共有、ICT 端末を用いた発表など、さまざまな学習活動を行えるようになりました。また、教職員は、ICTの効果的な活用法について、実践報告会を開き研修を重ねてきました。

3. 課題

- ・教職員間のICT活用のばらつき：授業や校務でのICT活用頻度に教職員間で差があることが課題として挙げられます。
- ・ICT活用の低頻度：令和6年度の全国学力・学習状況調査により、ICT機器の使用頻度が全国および都道府県平均を下回っていることが判明しました。また、「学習の中でPC・タブレットを使うのは勉強の役に立ちますか」という質問に対して、「役に立たない」と答えた児童生徒が多いことがわかりました。
- ・全ての児童生徒が平等に教育を受けられるよう、ICT端末を活用した授業を推進していますが、不登校児童生徒への支援の充実が課題となっています。

3. 1人1台端末の利活用方策

勝山市では、GIGA スクール構想第2期において、端末を更新し、児童生徒1人1台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取組を進めていきます。

また、第1期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していきます。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

ICT機器の授業活用が全国平均を下回っている状況です。全国や県内の好事例の共有やICTを活用した授業や取組を互いに見合ったり、紹介しあったりするなどの研修を重ね、教職員間の差をなくしていけるように努めます。また、既存の授業支援アプリの活用を推進し、効果的な授業を支援します。さらに、ICTに関する調査で端末の持ち帰りに課題があることが明らかになったため、AIドリルの積極的な活用など、支援体制の強化も検討しています。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

学校生活の様々な場面で、ICTを活用することの良さを子どもたちが実感できるような取組を行います。1人1台端末を活用し、児童生徒一人一人に適した学習環境を提供し、学習習慣の定着と学力向上に取り組んでいます。子どもたちが自分でICT機器を選んで、学習に臨めるような授業改善に努めます。自分の考えをまとめたり、発表したりする活動を充実させます。また、自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面を増やします。今後はデータの可視化を活用して個別最適な指導を実現し、教職員の事務負担を軽減して児童生徒と向き合う時間の確保を図ります。

(3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

児童生徒が自宅から授業に参加できる仕組みの整備や、AIドリルを活用した多様な学習機会の提供に取り組んでいきます。